

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

25周年 記念号

2025.3

vol.

70

巻頭レポート

ふじさんネットワーク設立25周年記念 シンポジウム ～美しい富士山を未来の子どもたちに～

富士山エコレンジャー体験イベント

ふじさんネットワーク25周年のあゆみ

ふじさんネットワークの主な事業の紹介

- 富士山森づくり事業
- 富士山ごみ減量大作戦
- 自然観察会
- 富士山講演会・勉強会
- 富士山環境学習事業
- 外来植物撲滅大作戦
- 富士山みがきあげ作戦
- 寄付受入

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

25周年 記念号

2025.3

vol.

70

CONTENTS

- 03 [巻頭レポート]
ふじさんネットワーク
設立25周年記念シンポジウム
～美しい富士山を未来の子どもたちに～
〈基調講演〉 工藤 夕貴さん
〈司会〉 久保 ひとみさん
〈鼎談コーディネーター〉 増澤 武弘会長
- 05 富士山エコレンジャー体験イベント
- 06 ふじさんネットワーク25周年のあゆみ
年表
- 08 ふじさんネットワークの主な事業の紹介
- 15 08 富士山森づくり事業
富士山環境学習事業
09 富士山ごみ減量大作戦
外来植物撲滅大作戦
10 自然観察会
12 富士山みがきあげ作戦
14 富士山講演会・勉強会
15 寄付受入
- 裏表紙 「ふじさんネットワーク」
会員募集中!



表紙の写真

富士山富士宮口五合目登山道
写真提供: PIXTA (ピクスタ)

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにあって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

一富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。

一富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。

一富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。

一富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。

一富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡県
山梨県

ふじさんネットワーク

設立25周年記念シンポジウム

美しい富士山を未来の子どもたちへ

令和6年10月13日実施 富士市・ロゼシアター中ホール

ふじさんネットワークは設立から25周年を迎えました。日本が世界に誇る富士山を大切に、貴重な動植物や自然環境を保全して、持続可能なものとするために多くの人が多岐にわたり尽力してきました。そして、ふじさんネットワークはこれらの取組の二翼を担っています。これからどのように富士山を守り、次世代へ繋いでいくか。富士宮市在住の俳優・歌手の工藤夕貴さんによる富士山に対する想いが詰まった基調講演や、県内で長年御活躍されている、タレントの久保ひとみさん、増澤会長との鼎談を通して、今後のふじさんネットワークの活動のあり方について考えました。



天気にも恵まれた初秋の午後、約200名の皆様にお集まりいただきました。

増澤武弘会長の 開会挨拶

シンポジウムに先立ち増澤会長はふじさんネットワークの設立当時の状況について振り返りました。「25年前は、富士山での調査・研究がほぼピークであった頃です。当時は富士山に関する調査・研究及び保護・保全を行う団体が約100団体もありました。富士山というひとつの対象に100以上の団体が関わるのは非常に珍しく、



富士宮市在住で俳優／歌手の工藤夕貴さん。

驚きました。」と語りました。各団体がバラバラに活動するよりもひとつにまとまれば、もっと広く活動できるのではと感じていたところ、同じ思いを持つ方々によりふじさんネットワークが設立され、富士山に関する様々な情報支援や、活動の助け合いを通じて活動の効果を高めていったということです。また、富士山を世界文化遺産に登録する経緯についても詳しい解説があり、イコモス(国際記念物遺跡会議)の海外の審査員から

「富士山はゴミがたくさんあり汚い。」と評価されるなど、自然環境に対する評価が低く、世界文化遺産登録までには紆余曲折があったということでした。増澤会長は「世界文化遺産登録には現場で活動する実働部隊としてネットワークが必要だった。」「現在500を超えている団体・個人の皆様の賛同を得て今のふじさんネットワークがあります。」と語り、感謝の意を込めた開会挨拶に対して、大きな拍手が起きました。

工藤夕貴さんの基調講演 そこに富士山があるから 日本人の心のふるさと

工藤さんは現在富士宮市に居住されていて、富士山の麓ならではの自然風景について話されました。「夜8時過ぎに県道71号線を下っているとときにムササビを見かけました。何かの人工物か樹木なのかなあ?と思っていたらムササビでした。他にもフクロウやシカもよく遭遇します。」「また、「富士山は眼前にあります。」「また、「富士山は見えなくても毎日同じ富士山は見えない。」と感じていることを話されました。工藤さんは子どもの頃、東京都八王子市に居住していたときに、天気の良い冬場に富士山が綺麗に見える。「今日は何かいいことがあるだろうな気がした。」と当時を振り返り、子どもの頃から富士山を愛していたことが伺えました。

日本とアメリカを往復しながら俳優活動をしていた当時の話では、海外でも富士山は有名でしたが、とあるハリウッド俳優に「でも富士山ってゴミが多い山なんだよね。」と言われた際「富士山がゴミの山なんて知らなかった。」と驚いた



工藤さんが感じる富士山の魅力について多くを語っていただきました。

工藤さんが情熱を持って富士山のことを語ってくれる姿勢、また富士山に対する愛情が溢れる気持ちに、会場にいる多くの方々が頷いたり、賛同の拍手が送られました。

富士山の魅力、そして将来(鼎談)

基調講演をしていただいた工藤夕貴さん、当日司会を務めていただいた久保ひとみさん、そしてふじさんネットワーク増澤武弘会長の3人で「富士山の魅力、そして将来」をテーマに意見交換を行いました。

富士山の登山の魅力について工藤さんから「下界では見ることのできない空・星・自然環境を目の当たりにすると、人は自然に生かされていると感じ、謙虚な気持ちになります。人生のなかで達成感をなかなか感じづらいですが、登山をしていると生きていくという達成感を感じることが出来ます。」とコメントをいただきました。久保さんは「私は浜松市在住です。浜松市からも富士山は見えますが、見える富士山は小さいです。富士山の麓に来ると富士山が本当に大きく見えるので、いつも大きい富士山に感動しています！」と語り、

会場の皆様が頷いていました。増澤会長は「世界には様々な山がありますが、唯一無二の美しさを誇る日本の富士山は世界一ですね。」とお二人の意見に賛同しました。また、増澤会長は富士山はこの50年で「森林限界」が上昇したことや、富士山の永久凍土の調査測定では最近標高2800メートルで永久凍土がなくなっていたことを指摘されました。これも私たちが現在直面している地球温暖化が影響しているということです。



増澤会長がリード役となり、終始和やかな雰囲気で行ったシンポジウム。

そして将来の富士山を語るうえで欠かせないのが富士山の環境保全について。久保さんは「富士山に登るのは本当に大変でしたが、登頂の喜びや感動は今でも忘れられない思い出で、この素晴らしい富士山の自然を守って、子どもたちに富士山を好きになってもらえるように伝えていきます。」と語りました。また工藤さんからは「自然環境を保全すると同時に、観光を成り立たせることが大切です。」と環境保全と観光の両立について御指摘いただきました。これには増澤会長も「工藤さんが指摘されたように自然、観光、生活、道路、経済も全て重要です。どれひとつ欠けることないよう自然を守りながら社会を動かすことで、富士山を将来にわたり守っていく。そのために私たちふじさんネットワークの会員のみんなが共通認識を持ち行動することが重要です。」と訴え、鼎談終了の時間となりました。富士山に対する皆さんの温かい想いと、富士山に対する将来像について共有できた大変貴重なシンポジウムになりました。御参加くださった皆様、誠にありがとうございました。

(※)引用元 渡辺豊博 村串仁三郎 編著
富士山を壊すのは誰？
「富士山登山鉄道構想」が観光立国日本をダメにする



工藤夕貴氏

俳優・歌手
静岡県観光大使。1983年に芸能界入り。映画『戦争と青春』に主演。最年少でブルーリボン賞主演女優賞を受賞。数々の日本映画をはじめ、『ラッシュアワー3』『SAYURI』などのハリウッド映画へも多く出演。アメリカから帰国後は、富士宮市に移住し、俳優をする傍ら、富士山の見える農場で、自然農法を取り入れた野菜栽培や米作りに取り組みながら、カフェレストラン「カフェ・ナチュレ」を経営。



久保ひとみ氏

タレント/ラジオパーソナリティ
主に県内の情報番組やラジオ番組で活躍する。愛称は「久保ちゃん」。静岡県浜松市出身。



富士山エコレンジャー

体験イベントを実施しました

—令和6年10月20日(日)—

ふじさんネットワーク設立25周年の記念イベントの一環として、富士山エコレンジャーの活動に興味を持っていただき、環境保全活動に参画いただくことを目的に、「富士山エコレンジャー体験イベント」を開催しました。

富士山エコレンジャーは、富士山の自然環境を守り、富士山の魅力を伝えるため、パトロールを通じて来訪者へのマナー啓発や、自然解説等のボランティア活動を行っています。

イベント当日は、西臼塚の富士山自然休養林で、小学生から80代の参加者25名が、富士山エコレンジャーの解説のもと、パトロールを体験しました。

朝、富士山エコレンジャーの活動内容の説明を受け、「歩道を外れない」「生き物を採集しない。持ち帰らない」「各自のごみは持ち帰る」といったフィールドマナーや、危険な動植物に対する注意事項を確認した参加者は、早速、遊歩道に入り、気づいたことを写真やメモに記しました。

「危険な木の見分け方」「登山道から外れた箇所の踏み跡による複線化」のチェックや、「この時期に見られる特徴的なきのこや植物」の解説をエコレンジャーと共に確認し、普段はあまり意識していないポイントを紹介されると、参加者は驚いた様子



でした。

パトロール後は参加者同士で気づいたことを発表し合いました。参加者からは、「マナーを守る大切さを改めて感じる事ができた。」「パトロールの事を知り、自分も今後同じ目線で登山道を見ることができるようになりたいと思った。」「よくわからない案内板の発見、謎の赤い印、ゴミ化した規制テープなどの確認や注意喚起の実演を見て、エコレンジャーの大切さを知ることができました。」「などの感想が聞かれました。エコレンジャーによる通常のパトロールでは、発見した情報を報告書にまとめ、関係機関に情報提供しています。富士山エコレンジャー活動に興味があるという方はお気軽に事務局までお問合せ下さい。



年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
富士山エコレンジャー・サポーター 登録者数の推移					53名	105名	89名	79名	52名	20名	24名	22名	17名	25名	29名	24名	18名	15名	8名	15名	25名	20名	18名	24名	24名	21名	22名
1999	10月23日 ふじさんネットワーク発足				2002		富士山エコレンジャーの活動がスタート 7月21日富士宮口五合目レストハウスで発会式 ふじさんネットワーク会員の中から活動に必要な法制度等を研修した53名の有志が参加		2003		マナーカード作成 増加する外国人来訪者に対応するため、英語・ポルトガル・韓国語の富士山マナーカードを作成				2006		富士山エコレンジャー連絡会発足 エコレンジャーの個々の資質向上のため、充実した講習会を開催していくことを決定 基礎講座、実技講座、経験の有無や関係資格取得の有無を考慮し、必要単位数を取得した者に認定証を交付することとした		2007		富士山エコレンジャー連絡会活動 エコレンジャー登録要件の見直し後、講座修了者20名が登録 静岡県新規採用職員研修への講師派遣		2010		富士山エコレンジャー登録要件制定		
			2013		トレイルラン植生保全環境調査 ウルトラトレイル・マウントフジの富士山の自然環境への影響を懸念し、エコレンジャーの有志により影響調査を実施		2017		富士山エコサポーターの設置 仁藤浪会長勇退 「会長」→「代表幹事」とし、吉永耕一氏が代表幹事に選任される		2020		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため総会の書面開催 登録要件改正(登録期間の変更)				2023		1日子どもエコレンジャー体験イベント開催(25周年プレイベント) 登録要件改正(サポーター登録年齢上限の引き上げ) 福原みさよ氏が代表幹事に選任される		2024		富士山エコレンジャー体験イベント開催 エコレンジャーの活動内容を知ってもらい、環境保全活動に参加してもらうため、体験イベントを実施 参加者25名はフィールドマナーなどについてエコレンジャーの視点で学んだ				

ふじさんネットワーク25周年のあゆみ

ふじさんネットワーク設立25周年の節目を迎え、設立当初から現在までの、ふじさんネットワークの活動をふりかえります。

ふじさんネットワーク 設立について

「ふじさんネットワーク」は、富士山憲章を周知し定着させて、富士山の環境保全活動を広く展開していくために組織された、富士山を愛する国民、事業者、行政が一体となって活動するネットワークです。ふじさんネットワーク会員の得意分野を活かした様々な自主的活動により、または会員同士が連携することにより、富士山を世界に誇れる山として保全し、その恵みを後世に引き継いでいくことを目的としています。

ふじさんネットワーク 設立25周年記念号 発行に際して

ふじさんネットワークは設立25周年を迎えました。多くの諸先輩方の御尽力があり今日に至っていることを大変嬉しく思います。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。



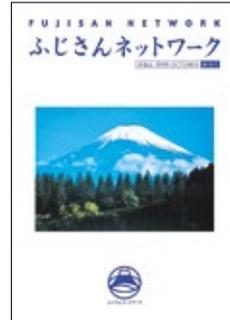
▲富士山憲章10周年記念



▲環境保全啓発看板



▲ピンバッジ SAVE 花



▲ふじさんネットワーク 情報誌創刊号

富士山憲章制定
10周年記念フォーラム開催
自然観察会開始

2008
(平成20年)

2005 環境保全啓発
看板設置
(平成17年)

2003 ふじさんピンバッジ
事業開始
(平成15年)

2001 部会設置
(情報部会・環境教育部会・森づくり部会)
会員傷害保険開始
富士山森づくり事業開始
(平成13年)

1999 ふじさんネットワーク
設立
ふじさんネットワーク
情報誌創刊
(平成11年)

2002 ネットワーク通信1号発行
富士山エコレンジャー発足
メールマガジン開始
富士山みがきあげ作戦開始
(平成14年)

2000 富士山講演会・勉強会開始
富士山環境学習事業開始
(平成12年)

2006
(平成18年)

富士山世界文化遺産県民の会発足
富士山エコレンジャー連絡会発足
富士山エコレンジャー県職員研修派遣



▲企画部会

1998 富士山憲章
制定
(平成10年)

設立以前は多くの人が愛してやまない富士山を守っていかうと様々な団体が立ち上がり各々で活動を進めていました。団体間での情報共有が上手く進まずに活動も混沌とした状態でした。そこで富士山を大切に思い、守っていく仲間と志をともしてひとつの大きなネットワークを創る、それがふじさんネットワークでした。各々に活動していた団体同士での情報交換の場を整え、活動や作業を分担し、各々の知恵と人的なネットワークを活用して団結したことをつい昨日のことのように思い出します。

当時の自然保護活動はとにかく自然を守ることに関心し、人の立ち入りを制限して自然を守るというスタンスが主な活動方針でした。しかし時代は変化し、自然は保護することだけではなく、保全と再生の両軸であることが現在の認識です。自然も人も経済もそれぞれが成長し、育み守る。この地道な積み重ねが新しい自然保護の形になっています。未来を担う子どもたちへの自然環境教育も含めて、行政や地域の皆様、企業の御協力をいただきながら今後ともふじさんネットワークの活動に取り組んで参ります。

ふじさんネットワーク会長
増澤 武弘

2024 ふじさんネットワーク
設立25周年
(令和6年)



▶ 外来植物ハンドブック



▲ 世界文化遺産学習(三保松原)



▲ 10周年記念シンポジウム

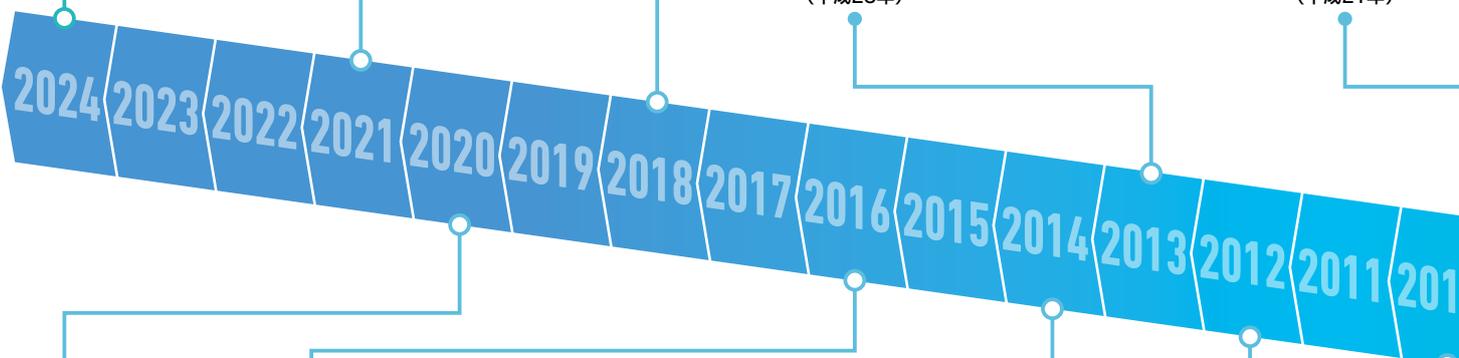
2021 ふじさんからの挑戦状
電子版へ
(令和3年)

2018 富士山外来植物
ハンドブック制作
(平成30年)

富士山環境保全活動推進事業費補助金開始
ふじさんネットワーク設立10周年
啓発物品作成事業

2013 世界文化遺産学習事業
(平成25年)

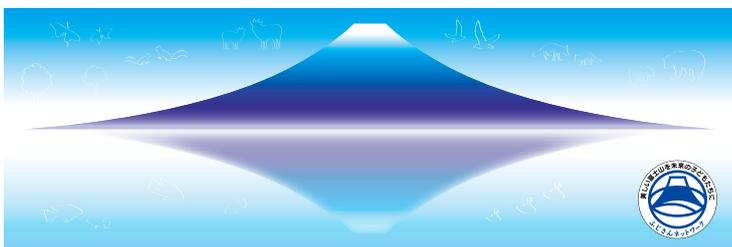
2009
(平成21年)



2016 オフロード車乗り入れ規制
外来植物啓発クリアファイル制作
(平成28年)

2014 外来植物撲滅大作戦開始
(平成26年)

2020 外来植物除去のぼり旗・ピブス作成
ふじさん寄付記念品 手ぬぐい完成
(令和2年)



▲ 手ぬぐい

2012 ふじさんピンバッジ新シリーズ
富士山ごみ減量大作戦参画
(平成24年)



▲ ピンバッジ新シリーズ



2010 富士山からの
挑戦状制作
(平成22年)



ふじさんネットワークの 主な事業の紹介

富士山森づくり事業

2001年、ふじさんネットワークは
会員相互の交流・対話を促進し、会員の意
見を反映した運営を行うため、ふじさん
ネットワークに3つの部会が立ち上がり
ました。そのうちの1つが森づくり部会です。
この部会は、富士山1000年プロジェクト
3776構想を推進するための実践機関
として位置づけられました。

1996年9月の台風17号によって、
大規模な風倒被害を受けた富士山麓の
国有林をフィールドに、ふじさんネット
ワークの会員の皆様が植樹や下刈りなど



森づくり指導者研修

の作業に汗を流してきました。

森づくり部会では、森づくり活動への参
加者募集のほか、森づくりに対する理解や
知識を深めるための研修会を開催し、安
全を確保しながら富士山の自然林を復元
することを目標に活動を行ってきました。

この森づくり活動は、富士山麓の国有
林を自然林として復元する方針を支え、
ボランティアを始め関係者の地道な努力
と揺るぎない信念があつてこそその活動で
あり、現在も様々な団体に引き継がれてい
ます。



苗場の整備

MN × REPORT

富士山環境学習事業

美しい富士山を後世に引き継ぐために
は、将来を担う子供たちに富士山の大切
さを認識してもらふ必要があります。この
ため子供たちを対象にした事業として
富士山環境学習事業を2000年から
開始しました。

現在まで、内容を見直しながら、様々
な事業を展開してきました。過去には、
「富士山こども自然塾」の開催や、「富士
山における環境教育・学習プログラム」を
作成し、小学生を対象とした宿泊を伴う
活動体験を行ったほか、企業の環境負荷
軽減の工夫を学ぶため、工場見学を実施
していました。

また、富士山への興味が湧く資料を子



2007年 富士山環境学習事業

供たちに届けるため、学習リーフレット
「富士山からの挑戦状」を作成しました。

現在の富士山環境学習事業は、「環境学
習事業」、「活動体験事業」、「学習リーフレ
ット作成事業」の3項目に整理し、子供か
ら大人まで幅広い世代に向けて富士山を
知ってもらうための事業を行っています。
「環境学習事業」は自然観察会や富士山
勉強会を、「活動体験事業」は外来植物撲
滅大作戦やごみ減量大作戦、草原性植生
保全活動を、「学習リーフレット作成事業」
は「富士山からの挑戦状」をベースに富士
山学習を行う教員向けの研修を、それぞ
れ実施しています。



富士山からの挑戦状を活用した出張講義

富士山ごみ減量大作戦

静岡県では五合目より下の山麓道路わきに投棄されたごみが富士山的美観を損ねているとして、2006年から県民の環境意識の啓発と併せてごみ拾いを行っています。ふじさんネットワーク会員もボランティアとして実施当時から参加者を募り、ごみ拾いを行ってまいりました。

2012年度に富士山の日協賛事業として実施した富士山ごみ減量大作戦から、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会、(株)三井エンタープライズとの共催で実施するようになりました。以降、毎年2〜3回実施しており、現在は募集を始めると数日で定員に達する大人



2011年 ごみ減量2月

気の事業となつていきます。

事業開始当初と比較し、富士山麓の道路わきに投棄されているごみは少なくなり、これまでの活動に参加していただいた皆様への感謝と、活動を継続する大切さを実感します。今後も富士山的美観維持のための活動を継続してまいりますので、変わらない御協力をお願いいたします。

2018年 ごみ減量10月



2024年 ごみ減量6月集合

NEWS × COLU

外来植物撲滅大作戦

富士山世界文化遺産登録への気運高まる2013年に、静岡県が富士山麓の植生、登山道の調査を行ったところ、来訪者の多い道路周辺で外来植物が発見されました。特定外来植物は発見されなかったものの、在来植物への影響が懸念されるため、2014年から、植物の専門家の指導のもと、ふじさんネットワークと静岡県の共催で、ボランティアによる外来植物除去活動「外来植物撲滅大作戦」を開始しました。

国道469号沿いを中心に、西臼塚駐車場、高鉢駐車場、水ヶ塚駐車場、富士宮口五合目、御殿場口新五合目、須走口五合目で除去活動を行っており、これまでに



2014年 外来植物撲滅大作戦

300人以上の参加がありました。外来植物の侵入・蔓延防止のためには定期的・継続的な活動が必要です。今後も富士山の外来植物撲滅のための活動を継続してまいりますので、変わらない御協力をお願いいたします。

2017年 外来植物撲滅大作戦



2024年 外来植物撲滅大作戦

自然観察会

2008年にふじさんネットワークが「富士山憲章制定10周年記念事業」として、自然観察会を実施しました。この観察会は、「森林」「水」「動植物」「地質」の4種類のテーマで実施され、ふじさんネットワークの会員がガイドを務めました。

この事業が好評をいただいたことから、翌年2009年からふじさんネットワークの事業として継続して実施しています。

当初は秋に開催していましたが、「富士山の日協賛事業」として2月に行なった年もあります。

観察会は、富士山五合目以下の山麓を中心に、大沢川扇状地や富士山



2013年（公財）柿田川みどりのトラスト・柿田川自然保護の会による自然観察会



2009年 富士宮自然観察の会による自然観察会



2014年 駒門風穴保存会・富士山世界遺産ガイドによる自然観察会

本宮浅間神社、白糸の滝、駒門風穴など富士山の豊かな自然を存分に観察できるフィールドで開催してきました。「富士山の恵み柿田川」親子で水に親しむ自然観察会」は、ふじさんネットワーク自然観察会が開始された当初から続いている観察会で、公益財団法人柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会の皆様の協力により開催しています。

柿田川をテーマにした自然観察会は、2009年から2024年まで19回開催し、延べ12000人に御参加いただきました。自然観察会の開催実績は以下のとおりです。

年度	テーマ	ガイド
2008	富士山憲章制定10周年記念「自然観察会」富士山の水を巡る	(財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	富士山憲章制定10周年記念「自然観察会」富士山の森を巡る	NPO法人富士山自然の森づくり
	富士山憲章制定10周年記念「自然観察会」富士山の動植物に触れる	富士常葉大学
	富士山憲章制定10周年記念「自然観察会」富士山の地質観察	静岡大学及び国立科学博物館地学研究部
2009	柿田川の湧水を巡る自然観察会	(財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	朝霧ふれあいの森を巡る自然観察会	富士宮自然観察の会
	富士山の動植物に触れる自然観察会	富士常葉大学
2010	柿田川の湧水を巡る自然観察会	(公財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	富士山自然休養林を巡る自然観察会	富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会
	富士山ふれあいの森を巡る自然観察会	富士自然観察の会
	富士山の日協賛 自然観察会	(公財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2011	富士山の湧水を巡る自然観察会	(公財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	富士山の自然林を巡る自然観察会	富士自然観察の会
	富士山の地質と砂防	富士砂防事務所
2012	富士山の日協賛 自然観察会	(公財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	富士山の恵み 柿田川	(公財) 柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
	富士山の自然林を巡る自然観察会	富士常葉大学



2010年 富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会による自然観察会

年度	テーマ	ガイド
	<p>◀2011年 富士砂防事務所による 自然観察会</p>	 <p>◀2011年 富士自然観察の会による 自然観察会</p>
2012	富士山の地質と砂防 富士山の日協賛 自然観察会	富士砂防事務所 (公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2013	富士山の恵み 柿田川 富士山富士宮口五合目～六合目～宝永火口縁 富士山の日協賛 自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会 富士自然観察の会 土研究所
<p>2012年▶ 富士常葉大学による 自然観察会</p> 		<p>2013年▶ 土研究所による 自然観察会</p> 
2014	富士山の恵み 柿田川 東伊豆町の自然観察 ハイキング 駒門風穴・御胎内清宏園自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会 富士山エコレンジャー 駒門風穴保存会・富士山世界遺産ガイド
2015	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会 富士山高鉢山～ガラン沢～旧料金所ゲート自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会 富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会
2016	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会 「山の日制定記念」富士山高鉢山自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会 富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会
2017	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会 「山の日制定記念」富士山高鉢山自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会 富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会
2018	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2019	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2020	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2021	「富士山の恵み 柿田川」アユの産卵観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2022	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2023	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
2024	「富士山の恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会	(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会
 <p>◀2014年 富士山エコレンジャー による自然観察会</p>		 <p>◀2015年 (公財)柿田川みどりの トラスト・柿田川自然保護の 会による自然観察会</p>

富士山みがきあげ作戦

富士山みがきあげ作戦は、2002年11月から始まったボランティアによる自主的な清掃活動です。

富士山のゴミ問題については、五合目以上を中心に「富士山エコレンジャー」による来訪者の啓発や「富士山をいつまでも美しくする会」の一斉清掃、ボランティア、企業、行政等による清掃活動などの成果により、大きく改善されつつあります。富士山みがきあげ作戦は、これらの活動を富士山全域で一層推進していくため、富士山五合目以下の道路や公園等のごみについて地元企業、団体等が自主的に清掃活動を行い、富士山のすそ野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指す取り組みです。

参加者にはふじさんネットワークからのぼり旗、腕章などが貸与され、会員活動保険にも加入されますが、参加



▲2009年 (株)虎屋

者の人件費やごみの処理は自己負担で実施するボランティア事業です。

この事業の特徴は、実施者が清掃活動を行なうだけでなく、その後に「回収したごみの量と種類」、「ごみが多い場所」、「活動中に気がついた点」及び「ごみを捨てさせない方法」について考え、報告するところにあります。

事業開始から23年、記録に残っているだけで、取組回数は延べ203回に及びます。

これまで地道な活動に取り組み続けてくださった皆様、心から敬意と謝意を申し上げます。今後とも継続した活動をお願いいたします。

みがきあげ作戦の実績は以下のとおりです。

また、活動報告はふじさんネットワークホームページに掲載しております。こちらも是非御覧下さい。



▲2005年 国産電機(株)



▲2008年 マックスバリュ東海(株)

●「富士山みがきあげ作戦」活動事例 → <https://www.fujisan-net.gr.jp/event/brushing-strategy/activity-examples/>

年度	社名・団体名(敬称略)
2006	マックスバリュ東海(株)
	国立中央青年の家
	国産電機(株)
	トヨタ紡織(株)課長会 関東ブロック
	(株)虎屋 御殿場工場
2007	マックスバリュ東海(株)
	国産電機(株)
	国立中央青年の家
	(株)虎屋 御殿場工場
	キリンディスティラリー(株)
2008	東京電力(株)沼津支店
	マックスバリュ東海(株)
	(株)虎屋 御殿場工場
	国立中央青年の家
	東海ゴム工業(株)富士裾野製作所
2009	マックスバリュ東海(株)
	(株)虎屋 御殿場工場
	国立中央青年の家
	東京電力(株)沼津支店
	マックスバリュ東海(株)
2010	東京電力(株)三島支社
	(株)虎屋 御殿場工場
	国立中央青年の家
	マックスバリュ東海(株)
	(株)虎屋 御殿場工場
2011	富士乳業(株)
	マックスバリュ東海(株)
	マックスバリュ東海(株)
2012	マックスバリュ東海(株)



▲2010年 東京電力(株)

年度	社名・団体名(敬称略)
2002	富士五十鈴(株)
	東京電力(株)沼津支店
	東海ゴム工業(株)富士裾野製作所
	キリンディスティラリー(株)御殿場工場
	天間製紙(株)
2003	イオン(株)ジャスコ富士店
	国立中央青年の家
	キリンディスティラリー(株)御殿場工場
	富士宮市観光ガイドボランティアの会
	富士山の自然を守る会
2004	国産電機(株)
	東京電力(株)沼津支店
	国立中央青年の家
	(株)虎屋 御殿場工場
	富士山人
2005	(株)虎屋 御殿場工場
	国産電機(株)
	富士山エコレンジャー東電チーム
	キリンディスティラリー(株)御殿場工場
	マックスバリュ東海(株)
2005	東京電力(株)沼津支店
	富士山国際エコキャンプ村実行委員会
	マックスバリュ東海(株)
	朝霧JAM'S
	国産電機(株)
2005	国立中央青年の家
	東京電力(株)沼津支店
	(株)虎屋 御殿場工場
	マックスバリュ東海(株)
	キリンディスティラリー(株)



▲2005年 国立中央青年の家

年度	社名・団体名(敬称略)
2018	(株)虎屋 御殿場工場
	ダイダン(株) 静岡営業所
	キンディスティラリー(株)
	崇教真光青年隊
	ヤマハ発動機マネジメントサービス(株)
2019	(株)美幸輝
	キンディスティラリー(株)
	森永乳業(株) 富士工場
	(株)虎屋 御殿場工場
2020	キャノン(株)富士裾野リサーチパーク
	(株)美幸輝
2021	▲2019年 キヤノン(株) 富士裾野リサーチパーク
	▲2022年 富士森永乳業(株)
	キンディスティラリー(株)
	森永乳業(株) 富士工場
	富士森永乳業(株)
2022	キャノン(株)富士裾野リサーチパーク
	(株)美幸輝
	富士森永乳業(株)
	キンディスティラリー(株)
2023	キャノン(株)富士裾野リサーチパーク
	(公財)富士社会教育センター
	森永乳業(株) 富士工場
	(株)美幸輝
	(公財)富士社会教育センター
2024	キンディスティラリー(株)
	認定NPO 富士山クラブ
	森永乳業(株) 富士工場
	キャノン(株)富士裾野リサーチパーク
	共同印刷労働組合
2025	(株)美幸輝
	(公財)富士社会教育センター
 	
 	

年度	社名・団体名(敬称略)
2012	岳陽産業(有)
	(株)虎屋 御殿場工場
	(株)齋藤組
	遠藤建設(株)
	富士建設業協会
	ポリプラスチック(株)富士工場
	御殿庭をきれいになろう
	認定NPO 富士山クラブ
	NPO 富士山・御殿場ガイド御厨の風
	NPO 三保の松原・羽衣村
2013	連合静岡 静岡地域協議会
	連合静岡 志太榛原地域協議会
	志太榛原地域労働者福祉協議会
	連合静岡 富士・富士宮地域協議会
	スルガ銀行(株)
	森永乳業(株) 富士工場
	国産電機(株)
	▲2014年 認定NPO 富士山クラブ
	NPO 富士山・御殿場ガイド御厨の風
	(株)美幸輝
2014	環境にイイことあなたにイイこと
	マックスバリュ東海(株)
	森永乳業(株) 富士工場
	(株)虎屋 御殿場工場
	認定NPO 富士山クラブ
2015	(株)美幸輝
	マックスバリュ東海(株)
	森永乳業(株) 富士工場
	認定NPO 富士山クラブ
	(株)虎屋 御殿場工場
2016	トヨタ部品静岡共販(株) 富士営業所
	(株)美幸輝
	森永乳業(株) 富士工場
	認定NPO 富士山クラブ
	ダイダン(株) 静岡営業所
2017	(株)虎屋 御殿場工場
	ダイダン(株) 静岡営業所
	崇教真光青年隊
	トヨタ部品静岡共販(株) 富士営業所
	(株)美幸輝
2018	森永乳業(株) 富士工場
	▲2015年 トヨタ部品静岡共販(株)
	
	
	
 	

富士山講演会・ 勉強会

豊かな自然を有し、魅力あふれる富士山を守り、引き継いでいくためには、富士山を知ることが必要です。富士山は日本の標高を誇る独立峰です。他に類を見ない特徴を持ち、歴史、地質、植生、生態系、文化など、様々な分野で研究対象となっています。

富士山についての知見を深めることで、環境保全活動をより充実したものにしたいだけ、富士山をテーマに様々な分野の有識者を招き「勉強会」や「講演」を開催しています。ふじさんネットワーク設立当初から現在まで、延べ57名の講師の方にその知見をお話いただきました。

実績は、以下のとおりです。



2007年 静岡大学名誉教授 土隆一氏

年度	テーマ	講師 ※肩書は当時のもの
2000	富士山の水の七不思議	静岡大学名誉教授 土隆一氏
2001	富士山の異常湧水について	静岡大学名誉教授 土隆一氏
2002	富士山のトイレ問題	静岡県立大学教授 岩堀恵祐氏
	富士山に降る雨について	元富士山測候所長 平井泰世氏
	富士山の地下水のしくみ	静岡大学名誉教授 土隆一氏
	富士山の地下水の特徴	山梨県環境科学研究所地球科学研究室長 輿水達司氏
	富士山の地下水の保全	財団法人柿田川みどりのトラスト会長 漆畑信昭氏
	富士山の地下水の利用について	キリンディステラリー株式会社御殿場工場富士工場長兼環境室長 狩野住夫氏
	阿多野用水と水掛菜について	小山町 喜多淳隆氏
	静岡県のニジマスの養殖について	静岡県水産試験場富士養鱒場主任 青島秀司氏
2003	富士山の法律～自然公園法～	環境省沼津自然保護官事務所自然保護官 藤原己一氏
	レッドデータブックについて	静岡県環境森林部自然保護室主幹 山口章一氏
	富士山の植物について	富士山自然誌研究会会長 菅原久夫氏
	富士山の蝶について	日本鱗翅学会会員 清邦彦氏
2004	富士山の洞窟に住む生き物について	富士山火山洞窟学研究会会員 木崎裕久氏・勝間田隆吉氏
	富士山に住む哺乳類について	静岡市健康文化部長 三宅隆氏
	富士山の気象	東京管区気象台富士山測候所技術課長 稲葉和弘氏
	富士山の登山事故事例と安全な登山	静岡県警察本部地域課企画第1係長 眞田喜義氏
	富士山を守る法律	静岡県環境森林部自然保護室自然公園係 小杉郁奈氏
2005	富士山における自然との共生	富士常葉大学環境防災学部教授 山田辰美氏
2006	富士山の自然-3つの遺産-	国立大学法人静岡大学理学部教授 増澤武弘氏
	目からうろこのエコツーリズム	NPO法人日本エコツーリズム協会理事、京都嵯峨芸術大学芸術学部観光デザイン研究センター長専任教授 真板昭夫氏
	エコツーリズム推進について	環境省関東地方環境事務所国立公園・保全整備課自然保護官 樋口享軌氏
	富士山頂よもやま話	元富士山測候所長 平井泰世氏
	富士山信仰と人穴について	富士宮市文化財保護審議会委員 渡井正二氏
2007	富士山の特性	ふじさんネットワーク会長 土隆一氏
	世界遺産の保全とエコツーリズム	NPO法人日本エコツーリズム協会理事(株)ツーリズムワールド代表取締役サイバー大学世界遺産学部教授 高梨洋一郎氏
	2007年夏季の富士山測候所の利活用について	NPO法人富士山測候所を活用する会副理事長 土器屋由紀子氏
	富士山と戦国武将	静岡大学教授 小和田哲男氏
2008	富士山の動物	静岡県環境局自然保護室野生生物係主任 大場孝裕氏
2009	富士山の歴史と文化	静岡産業大学情報学部教授 中村羊一郎氏
	富士山の噴火史と火山防災対策の現状	静岡大学教授 小山真人氏
	富士山の環境、景観に配慮した森林づくりを目指して	富士宮市環境経済部環境森林課 上原己智也氏
2010	富士山の動物相と植生景観の保護	富士山自然誌研究会会長 菅原久夫氏
2011	虫になって富士山見れば	昆虫研究家・農学博士 平井剛夫氏
	富士山の地下水と湧水保全	静岡県環境衛生科学研究所 富士山地下水プロジェクトスタッフ 村中康秀氏
2012	富士山と雲～その成り立ちと気象予報～	気象予報士 片平菊野氏
	富士山の安全登山	静岡県警察本部山岳遭難救助隊長 眞田喜義氏
2013	富士山麓植生保全パトロールの結果速報	静岡県自然保護課 大川慎一氏、株式会社環境アセスメントセンター 品川修二氏
	富士山南麓の森とトレイルラン大会-トレイルラン植生保全環境調査-中間報告-	富士山エコレンジャー連絡会 吉永耕一氏
2014	富士山麓外来植物調査結果の報告	株式会社環境アセスメントセンター 品川修二氏
	富士山をめぐるシカとクマ-野生動物と人間の関係-	静岡県森林・林業研究センター上席研究員 大場孝裕氏

年度	テーマ	講師 ※肩書は当時のもの
2015	変わりつつある富士山の自然	静岡大学理学部特任教授 増澤武弘氏
	富士北麓の外来植物対策	山梨県富士山科学研究所研究員 安田泰輔氏
2016	富士山と静岡県の天気	NHK静岡「たっぷり静岡」気象キャスター 吉井明子氏
	富士山における環境省の取組	環境省沼津自然保護官事務所自然保護官 中田一誠氏
	世界自然遺産・小笠原諸島における外来種対策	東京都環境局自然環境部自然公園計画担当課 課長代理 松本行史氏
2017	日々、隣にある富士山	写真家 高瀬幹雄氏
2018	富士山の里山における開拓の歴史と特徴	愛知大学文学部非常勤講師 中山正典氏
2019	※コロナ感染予防のため中止	
2020	※コロナ感染予防のため中止	
2021	※コロナ感染予防のため中止	
2022	富士山とデザイン	有限会社アドクック相談役、デザイナー 前田三根男氏
2023	富士山の植物	静岡大学客員教授 増澤武弘氏
	火山としての富士山	静岡大学未来社会デザイン機構副機構長 小山真人氏
2024	富士山と源氏物語―“古典”の政治学	静岡県富士山世界遺産センター教授 松島仁氏



2011年
アサヒビール(株)

2015年
マックスバリュ東海(株)
ハーゲンダッツジャパン(株)

寄付受入

ふじさんネットワークには、設立当初から会員の皆様をはじめ多くの方から御寄付をいただいています。ふじさんネットワークの活動趣旨に賛同してくださる方が多いことを、改めて実感しています。いただいた寄付金は、環境保全の普及啓発などふじさんネットワークの活動に幅広く活用させていただきます。今後も、美しい富士山を後世に引き継いでいくための活動を推進していきますので、引き続き御賛同、御支援いただきますようお願いいたします。

年度	社名・団体名(敬称略)
	マックスバリュ東海(株)
	アサヒビール(株)
	アサヒ飲料(株)
2014	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツ(株)
2015	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2016	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2017	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2018	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2019	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2020	マックスバリュ東海(株)
	ハーゲンダッツジャパン(株)
2021	マックスバリュ東海(株)
2022	マックスバリュ東海(株)
2023	マックスバリュ東海(株)
2024	マックスバリュ東海(株)



▲2013年 富士宮信用金庫



▲2013年 富士信用金庫



▲2024年 マックスバリュ東海(株)

年度	社名・団体名(敬称略)
2000	日本四輪駆動協会
2001	本田技研工業(株)硬式野球部
2003	(株)静岡伊勢丹
	マックスバリュ東海(株)
2004	マックスバリュ東海(株)
2005	マックスバリュ東海(株)
2006	マックスバリュ東海(株)
2008	マックスバリュ東海(株)
2009	沼津信用金庫
	マックスバリュ東海(株)
2010	マックスバリュ東海(株)
	イオンリテール(株)
2011	アサヒビール(株)
	マックスバリュ東海(株)
	アサヒ飲料(株)
2012	マックスバリュ東海(株)
	アサヒビール(株)
	アサヒ飲料(株)
2013	沼津信用金庫
	三島信用金庫
	富士宮信用金庫
	富士信用金庫



▲2009年 沼津信用金庫



▲2013年 三島信用金庫

◎このほか、社会貢献型クレジットカードの利用、インターネットバンキング基金の利用、直接申し出いただく等、富士山を愛する個人の方から多くの寄付をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

Welcome



Join Us

「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を世界に誇れる山として保全し、その恵みを後世に継承していくことを目的とする会員制のネットワーク組織です。

富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等により構成されており、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費
年会費
無料

特典

- 「ふじさんネットワーク」の情報誌が届きます
- イベント情報をいち早く入手できます
- シンボルマークが使えます

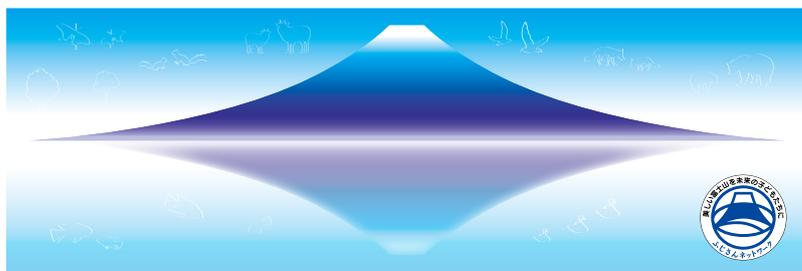


「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見る事ができます。

<https://www.fujisan-net.gr.jp/>

富士山の 環境保全のために 寄付にご協力ください

富士山の環境保全への関心を高める活動の費用等に充当するため、ふじさんネットワークへの寄付を募っています。寄付していただいた方にはオリジナル記念品を差し上げています。



手ぬぐい「鏡富士」

■サイズ:(約)35cm×90cm ■綿100% ■1口:1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で
文字はゴールドのピンバッジです。

SAVE Mt.FUJI

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



花シリーズ

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上



富士山の雲シリーズ

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上



直接受取希望：ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。

寄付をいただいて、同時に記念品をお渡します。(TEL 054-221-3498)

送付希望：QRコードを読み込み、HPの寄付専用申込フォームにて申請してください。もしくは、郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数
振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができ、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2025年3月 vol.70 25周年記念号

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:https://www.fujisan-net.gr.jp/

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 575団体・個人(令和7年3月3日現在)

※本書の作成には、マックスパリュ東海株式会社からの寄付金が使われています。